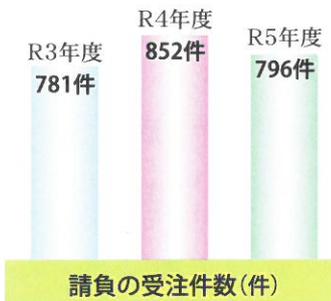


生きがい

URL(ホームページアドレス):<https://mikawa.yamagataren.org/>

11月末実績3ヶ年比較



請負の受注件数(件)



請負契約金額(万円)



派遣契約金額(万円)

残念ながら

請負の実績は前年度より減

令和5年度事業実績(11月末)

令和5年度11月末の事業実績は、上記グラフの通りとなりました。新型コロナウイルス感染症の位置づけが、令和5年5月より「5類感染症」となり、業務への影響はほとんど受けない状況になってきました。

業務のご依頼は、三川町内に止ま
(4ページへつづく)



今年はお歳の年。十二支で唯一想像上の動物であり、活力が旺盛になって大きく成長する年であ

ります。新年あけましておめでとうござい
ます。会員皆様並びに各関係者皆様
におかれましては、ご家族共々お健
やかに新年をお迎えのこととお慶び
申し上げます。

りたいと思います。
会員の皆様には、一年を通して「安
全第一」をモットーに就業してい
だき、心より感謝申し上げます。
近年、当センターをめぐる環境は
設立当時に比べ、大きく変化して
おります。諸物価の高騰、最低賃金
の改定、高齢者雇用安定法の改正、特
に昨年10月より導入されたインボ
イス制度は、小規模な当センターに
とっては大きな問題です。施行に

よって生じる新たな税負担は、収支
相償が原則のセンターにとつては、
存続の危機にもなります。
当センターは、高齢者等の雇用の
安定に関する法律に基づき設立され
た、公共的・公益的な団体であり、
地域住民の日常生活に密着して活
動する団体です。新しい年を迎えら
れたことに感謝しつつ、皆様の変わ
らぬご理解、ご協力をよろしくお願
い致します。

働く、楽しむ、つながる

理事長 須藤 栄 弘





三川町長
阿部 誠 さん

ずっと、輝いて

三川町シルバー人材センターにおかれましては、平成8年の設立以来、就業の機会を提供することにより、高齢者の豊富な知識や経験を活かした活動を進めてこられました。「シルバードーム」や「シルバードーム」など、町内でシルバーの仕事を良く耳にします。多くの仕事地域からシルバー人材センターへと寄せられていることは、会員の皆様方へ

の信頼の表れであり、何よりも誇れることではないでしょうか。コロナ、戦争、物価高騰等現在の世界情勢は暗く、厳しい話題が続いています。そんな中で、笑顔忘れず、やりがいや生きがいを持って頑張る姿は輝いています。シルバー人材センターの今後益々のご発展を期待しております。

2024年、新しい年が始まりました。年が改まりましたが、シルバー事業をめぐる問題は山積しています。それでも、シルバーはお客様のご要望・ご注文に応え、地域づくりを担う一員として前進します。新しい年に希望を抱けるよう、地域振興をけん引する組織の代表3名の方より、シルバーへの応援メッセージをいただきました。題して、「2024年、それでもがんばれシルバー！」です。



丸果庄内青果(株)
代表取締役社長
佐藤 玲子 さん

「食」を守る使命に重要な機能

平素より三川町シルバー人材センター様には大変お世話

になっております。当市場も令和5年

12月1日で半世紀を迎えることが出来ました。これも偏に多くの皆様方からのご理解、ご支援があつての賜物だと感謝申し上げます。

活動しているシルバー人材センター様の機能はとても重要です。

50年の歳月を経て世の中の流れ、市場を取り巻く環境は大きく変化しております。市場の根幹である農業は全国的に高齢化が進んでいく中で、私ども公設の市場としては、生きていく上で、なくてはならない「食」を守る使命がございます。それには、地域で

一つの点の繋がりが線になり、ネットワークを築きながら地域の一員として地元貢献できる素晴らしい機関だと考えております。又、自分の健康寿命を延ばす為の一つとして、これからも地域活性化の為に、頑張っていたきたいと思っております。今後ますますのご活躍を期待申し上げます。



JA庄内たがわ
代表理事組合長
海藤 喜久男 さん

その知識、経験、技術が頼りです

今、地域から人が減っていくという大変難しい環境下に、地域全体が置かれています。行政・企業・組織それぞれが、施設・設備・店舗の再編・統廃合を行わなければ、事業の継承が難しいという危機意識を持っています。

私たちJAは、この環境の中で地域農業を次世代に繋ぐ為に、組合員の理解を頂きながら進化をしていく必要があ

ります。日々の事業展開を安定したものにしていく為には、要員の確保が文字通り要になります。シルバー人材センターの皆様には、これまで大変お世話になってる所ですが、今後益々センターの重要性が増してくると考えますし、そのお力を活用させて頂きたいと思っておりますので、宜しくお願致します。

情勢厳しく、
問題多く...

それでも

がんばれ

シルバー!

全国どこでも 当センターも人手不足

三川町シルバー人材センターは、町当局のご支援、取引企業のご理解、お客様のご利用により、会員120名前後を維持しながら、順調に実績を伸ばしてきました。令和4年度は請負と派遣を合わせた契約金額が、過去最高の7,500万円を超えることができました。

業務のご依頼も、三川町に止まらず、鶴岡市や酒田市、庄内町からも多くあり、またお客様の口コミという後押しもあり、業務依頼は今後ますます増えていくことが予想されます。

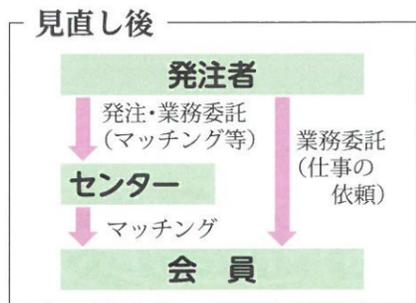
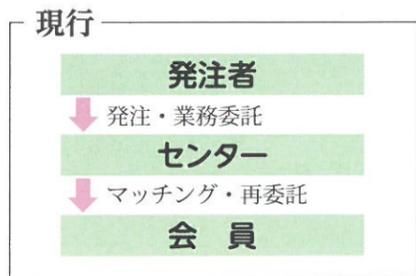
しかし、如何せん、業務を遂行する会員は、三川町在住者に限られ、毎年7~8名の新規会員を数えるものの、毎年何名かは業務から引退する会員もあり、お客様のご依頼に応える要員を確保することが難しい状況になっています。

当センター会員の働く動機は様々ですが、働いて何が一番嬉しいかと聞くと、皆さん異口同音に、お客様から「助かった、よかった、ありがとう、言ってもらえること」、だと言います。

お客様からの信頼を維持するためにも、会員全員が働く仲間を一人でも増やす取り組みをお願いしたいと思います。町民の皆さんも、是非とも「シルバーの扉を叩いてみてください!」

R6年秋より フリー

契約方法の見直しについて



R5年10月より 「インボイス制度」開始

「インボイス制度」の導入と相まって、個人の事業者(いわゆるフリーランス、シルバーの会員も該当)が安定的に業務に従事できるよう、「フリーランス法」(特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律)が令和5年5月に公布され、令和6年秋より施行される予定になっています。

この法律の施行に合わせ、これまで発注者がセンターに業務委託し、これをセンターが会員へ再委託する方法になっていましたが、これからは発注者と会員との間に契約関係が生じ、会員は業務内容や報酬額などを明示した「会員業務仕様書」に同意した上で就業することになります。

「会員業務仕様書」の明示は、手渡しや郵送等では時間や事務負担がかかることから、会員がスマホなどで確認できるようデジタル化を進める必要があります。新しい法律の施行により、新たな対応が求められています。

「インボイス制度」が令和5年10月より始まりました。「インボイス制度」は、消費税の仕入税額控除がインボイス(適格請求書等)を介在した取引しか認められない制度です。

シルバー人材センターは、会員の皆さんが就業すると配分金をお支払いしますが、それには消費税が含まれています。会員の皆さんが消費税課税事業者としてインボイスを発行しない限り、センターは仕入税額控除を受けることができません。

全国にはシルバー人材センターが約1,300センターあり、「インボイス制度」により生じる消費税は合わせて約200億円にもなり、1センターあたりでは平均1,500万円になります。制度開始から3年間は仕入税額控除の80%まで、その後の3年間は50%まで認められる経過措置がありますが、6年後には全くなくなります。

シルバー人材センターは、高齢者の生きがいづくり、豊かな地域づくりに貢献する組織として、国や県、町から補助金をいただき、収支相償の経営で成り立っています。お客様からいただく事務費は長い間10%に設定していましたが、これらの事情により、令和5年10月より12%に改定させていただきました。厳しい環境の中での経営を余儀なくされています。

アスレの改修 ↓ 管理員も休業

(1ページよりつづく)
 らず、鶴岡市を始め、酒田市や庄内町からも多く寄せられる傾向が続き、現状の会員が4月のスタート以来、夏の長かった猛暑期間も含めて、毎日フル回転で業務にあたりました。

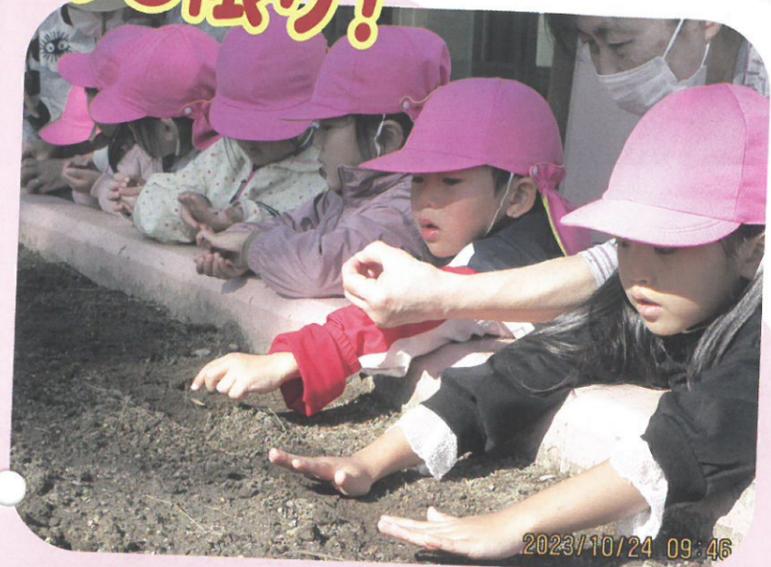
それでも請負の業務実績は、前年度を下回る結果となりました。三川町屋内運動施設アスレの花に、6月から10月末まで全面改修工事が入り、その期間、管理員業務がなくなつたこと。JA庄内たがわさんの長ね

ぎ処理作業が、夏の猛暑もあり、生産量が落ち込み、前年度より大きく減少したこと。前年度は行っていた、児童保育、延長保育業務に今年度は携わっていないことなどが、契約金額などを下げる要因になりました。

派遣業務は、派遣先企業が新型コロナの影響から回復してきており、契約金額は前年度より68万円増の1千718万円となりました。
 山形県最低賃金が10月に改定されたことを受け、10月の理事会において請負の配分金単価改定を行いました。派遣業務においても、派遣先のご理解を得て、派遣賃金の改定を行うことができました。

10/24(火)

寒さ厳しい冬も がある限り!



▲恒例、みかわ保育園4歳組の子ども達が菜の花の種をまき、チューリップの球根を植えました。シルバーは花壇の準備など、子ども達の作業をお手伝いしました。春、新しい仲間が入園する頃、玄関いっばいに咲く菜の花とチューリップが楽しみです。

みかわ保育園

恒例の菜の花とチューリップ

12/22(金)



▲(株)元青果さんのお正月用花の作業を12月21日(木)から27日(水)まで行いました。西南地方から送られてくる菊やスターチスなどを、お正月各家庭の神棚や仏壇用に取り分ける作業です。年末まで目いっぱい作業は続き、就業した会員の皆さん、お正月はゆっくりできましたでしょうか!?

こちらも恒例

お正月用花の作業

12/8(金)

酷く暑かった夏も シルバーの熱気



▲雪囲い作業が終わるやいなや、冬期間見守り援助活動(除雪作業)の結団式が行われました。最初に除雪車の点検・整備を行い、次に町社会福祉協議会に登録された除雪先を確認。雪が降ったらすぐに出動できる体制を整えました。

除雪隊結団式 雪囲い作業が終わるやすぐに

令和5年度「安全就業」に関する標語「入選作品

令和5年度「安全就業に関する標語」の入選作品が決まりました。県内25センターから718編の作品が寄せられ、10月11日(水)山形市「遊学館ホール」にて開催された令和5年度安全就業推進大会において、栄えある表彰を受けた作品は次の通りです。

最優秀賞

「シルバーは地域の信頼無事故から」
 東根市SC会員 堀江 富治さん

優秀賞

「安全はシルバー仲間合言葉」
 新庄・最上地域SC会員 阿部 修一さん

「事故ゼロ」は一人ひとりの心がけ」
 山形市SC会員 斎藤 知行さん

佳作

「安全は道具の整備と体調管理」
 鶴岡市SC会員 斎藤 幸子さん

11/20(月)



▲寒さ増す中、東郷小学校西側に防雪ネットを設置しました。雪囲い作業は11月に入ると、鶴岡市のお寺さんや個人宅、三川町の小学校・中学校・保育園、車検場、青果市場などと続きました。昨年より鶴岡市内のお客様のご依頼が増え、天気の良い日もあり、心配しましたが、12月上旬に無事、全作業を終えることができました。

雪囲い作業急ピッチ 12月上旬まで

「だいたいようぶー慣れた油断が事故招く」
 山形市SC会員 鈴木 靖子さん

「まあいいか」油断大敵気の緩み」
 河北町SC会員 茂木 昭一さん

「安全は目から耳から心から」
 寒河江市SC 天口 ゆき子さん

「思いやりみんなで声掛け安全就業」
 新庄・最上地域SC会員 八鍬 登喜雄さん

職員優秀賞

「あなどるないつもの作業と慣れた場所」
 尾花沢市SC職員 庄司 辰也さん

令和5年度 8～12月 活動スナップ

10/4(水)

4年ぶりに町外へ

三瀬「旅館 仁三郎」にて

「会員日帰り研修会」開催!



▲ 海の幸をたっぷり味わい、
前半戦就業の疲れを癒やしました。

「新型コロナウイルス」が落ち着いてきたことから、10月4日(水)、4年ぶりに町外へ出て、鶴岡市三瀬「旅館仁三郎」において、「会員日帰り研修会」を開催しました。参加した22名は、令和5年度前半の事業経過と安全就業の徹底を研修し、お待ちかねの懇親に入りました。海の幸に舌鼓を打つとともに、カラオケでは皆さんが「十八番」を披露。最後の「お楽しみ抽選会」まで続き、前半戦を振り返る研修会を堪能しました。後半戦への備えは万全です。



▲ 仲よしコンビが懐かしの
「瀬戸の花嫁」を熱唱!



▲ 数ある「^{おはこ}十八番」の中から
こちらは「飛島育ち」。



▲ “マイクの奪い合いではありません”
誰が歌うか少しもめています。

編集後記

▽23年末のビッグニュースは、何と
言っても米大リーグ・大谷翔平選手
のロサンゼルス・ドジャースへの移
籍。契約金10年総額7億ドル、日本
円にして約1015億円。プロスポーツ史
上最高金額を更新したと言う。岩手
出身の野球好き少年が、正にアメ
リカンドリームを実現させた姿が、
喜々として全世界に伝わった。▽そ
れにしても、100億円という途方もな
いお金がどうして支払い可能なのか。
それは、米大リーグ機構(MLB)
が持つ収益力の高さにあると言う。
MLBの年間総収入は100億ドルを超
え、その収益の柱は、あらゆるメディ
アから入る放映権収入だと言う。▽
米大リーグ各球団は、MLBからの
分配金に加え、収益性の高い球場を
建設し、チケット収入・スポンサー
収入を拡大させ、抱える選手への高
額年俸支払いを可能にしている。▽
その一方、ロシアとウクライナの戦
争は、終結がいつになるのか知れず。
パレスチナ・ハマスとイスラエルの
戦争も終わることを知らない。背景
には、ユダヤ民族2000年の放浪、イス
ラエル建国以来、100年の対立の歴史
があるとと言う。▽私達はアメリカン
ドリームも、悲惨極まりない戦争も、
瞬時にテレビやネットで見ることで
できる世界に生きている。世界人口
80億分の一人として、一人でも多く
の人が奇跡の地球(ほし)で生きる
幸せを感じることができるよう、コ
タツの中から祈る。
(事務局・K)